

# 《京都》御所と離宮の葉

(おり)

其の一



ご挨拶

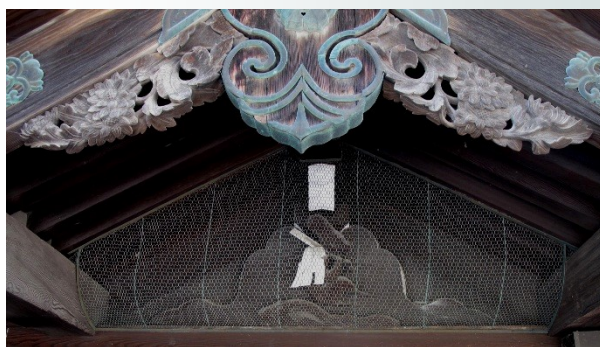
宮内庁では京都御所、京都大宮御所・仙洞御所、桂離宮、修学院離宮を管理していますが、これら御所と離宮には古くより積み重ねられてきた豊かな文化がちりばめられています。大切に伝えられてきたその文化の一端をこのページで逐次紹介したいと思います。

## — 京都御所 —

### 猿ヶ辻(さるがっじ)




京都御所の東北角 猿ヶ辻




京都御所は南北に長い長方形をしており、周囲を築地塀が巡っていますが、鬼門の方角に当たる北東の角には欠き込みを造り、さらに軒下には災い除けの木彫りの猿があります。そのためこの辺りを猿ヶ辻といいます。金網が張られていますが、猿が夜にぬけ出していたずらをするので、封じ込めたものとか・・・。

現在の猿ヶ辻は慶応2年に御所の敷地が拡張された際に今の位置になりました。それまではもう少し西側の朔平門寄りにありました。

金網越しの猿は見えにくいですが、右の写真のように、えぼし烏帽子を被り、御幣をかついでいます。

 マークは、御所・離宮の外側から、いつでもご覧になれます。

 マークは、参観でご覧になれます。申込み方法は、<http://sankan.kunaicho.go.jp/> をご覧ください。

 マークは、春と秋には申込みが必要のない一般公開の際にご覧になれます。下記にて日程等をご確認ください。 <http://www.kunaicho.go.jp/event/kyotogosho/kyotogosho.html>

 マークは、通常公開していない場所にあります。

## 建礼門の墓股(かえるまた)



外

建礼門は京都御所の南に開く正門で、構造としては檜皮葺の切妻屋根を持つ四脚門です。

もともと建礼門は平安時代以来内裏の南門の名で、平清盛の娘で安徳天皇の御生母の平徳子は建礼門院と号されましたが、その号(女院号)はこの門の名に由来します。

建礼門の柱にわたした化粧梁の上には、下の写真のような華麗な装飾を施した墓股かえるまたがあります。①と②は門の外側から、③と④は内側から見られます。これらは中国の仙人を表しています。

墓股とは、上下の横材の間に置いて荷重を支える束の一種で、カエルが脚を広げた姿に似ていることから、墓股と呼ばれていますが、彫刻が付されてそれが段々複雑化しました。



観 殿



① 黄初平

外



② 巨霊人

観



③ 費長房

殿



④ 老亀

ついじべい  
築地塀の石積み 



京都御所は南北約450メートル、東西約250メートルの築地塀によって囲まれています。上記の写真は、京都御所の南側にある建礼門(写真左)と北側にある朔平門(写真右)です。門としての作りはほぼ同じではありますが、一見して大きな違いがあります。それは門の脇にある築地塀の石積みの高さです。

京都市内は東、西、北を山々に囲まれた盆地で、南に行くほど標高が低くなります。京都御所北側外と南側外では、標高差が2.4メートルあります。その傾斜をなだらかにするため、南側では、1.5メートルの石積みがあるのです。敷地内では土地の傾きを気にすることなく、しかし御溝水や池の流れは自然に南側へと流れるようにと、そこには京都という土地にある御所ならではの、技術の歴史が息づいています。



けんしゅんもん

## 建春門の彫刻



京都御所東側の築地塀にある唐  
はふ 破風を付けた門を「建春門」と言  
います。

文久3年(1863)7月30日と8月5  
日に会津藩等の天覧馬揃え(天覧  
の軍兵訓練)がこの門外で行われ  
たことで有名です。孝明天皇はこ  
の建春門の北側に臨時に建てら  
れた棧敷より馬揃えをご覧にな  
りました。

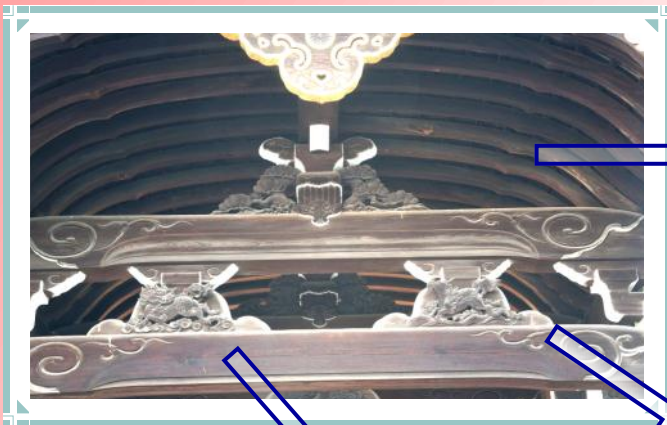


建春門は檜皮葺の四脚門で、屋根の形が特徴的な向唐破風造りというものです。葺股や笈形(中央に瓶のような形をし  
た短い束を立てたもの)などの彫刻が多数あり、花や動物など様々な彫刻を見ることができます。紙幅の関係でここでは  
詳しい紹介はできませんが、外側からご覧になれる彫刻としては、雲龍や獅子などがあります。扉の花狭間(透かし模様  
のところ)は、銀杏葉文様です。



建春門の彫刻(前頁続き)

観 殿



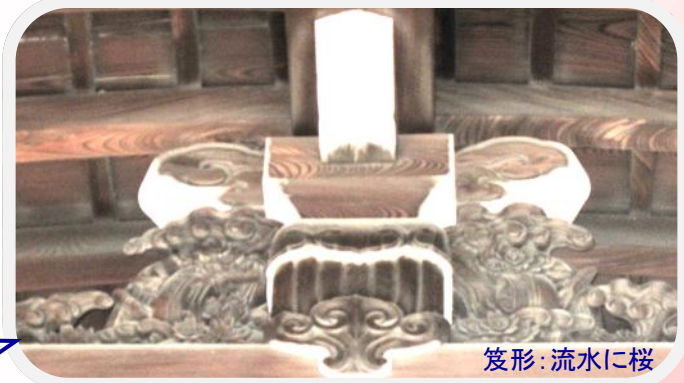
おいがた  
笈形:岡松



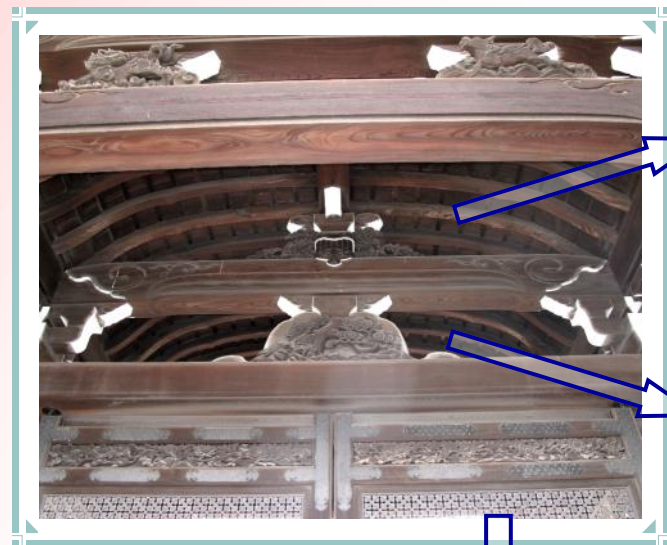
さい  
臺股:波に犀



かえるまた きりん  
臺股:雲に麒麟



笈形:流水に桜



臺股:唐松



花狹間上:菊と鳥

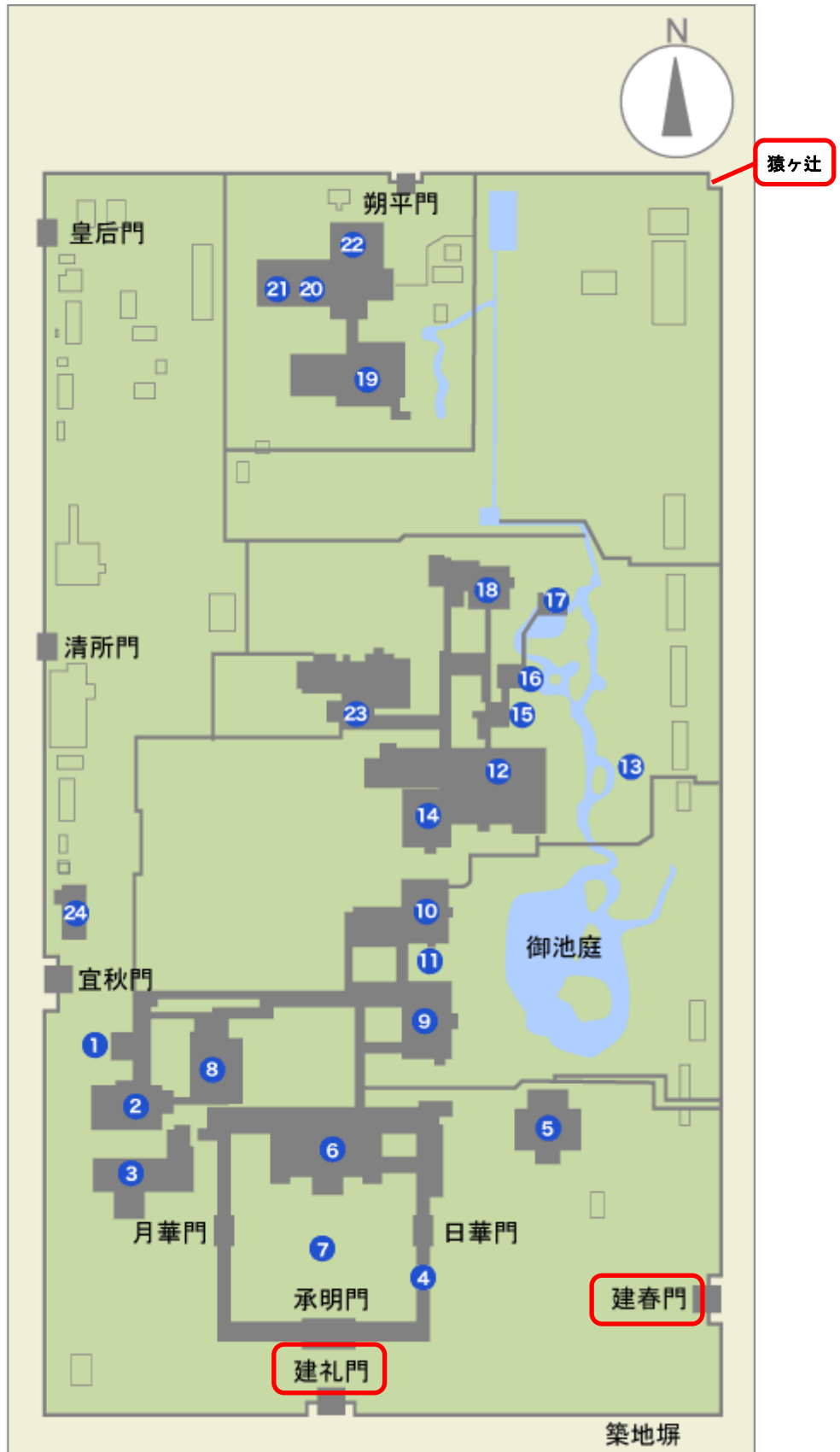
花狹間:銀杏葉文様



外 建春門外側

# 京都御所案内図

- ① 御車寄
- ② 諸大夫の間
- ③ 新御車寄
- ④ 回廊
- ⑤ 春興殿
- ⑥ 紫宸殿
- ⑦ 南庭
- ⑧ 清涼殿
- ⑨ 小御所
- ⑩ 御学問所
- ⑪ 蹴鞠の庭
- ⑫ 御常御殿
- ⑬ 御内庭
- ⑭ 御三間
- ⑮ 迎春
- ⑯ 御涼所
- ⑰ 聴雪
- ⑱ 御花御殿
- ⑲ 皇后宮常御殿
- ⑳ 若宮御殿
- ㉑ 姫宮御殿
- ㉒ 飛香舎
- ㉓ 参内殿
- ㉔ 参観者休所



観マークは、参観でご覧になれます。申込み方法は、<http://sankan.kunaicho.go.jp/> をご覧ください。

通マークは、申込不要の京都御所通年公開でご覧になれます。

詳細は、<http://www.kunaicho.go.jp/info/kyototsunen-sks-sankan.html> をご覧ください。

これまでの「《京都》御所と離宮の栞」については、宮内庁ホームページの[こちら](#)からご覧ください。

<問い合わせ先>  
 〒602-8611 京都市上京区京都御苑3 宮内庁京都事務所  
 代表電話：075-211-1211 参観係直通電話：075-211-1215